

京都観光をめぐる状況と 令和7年度の実施方針

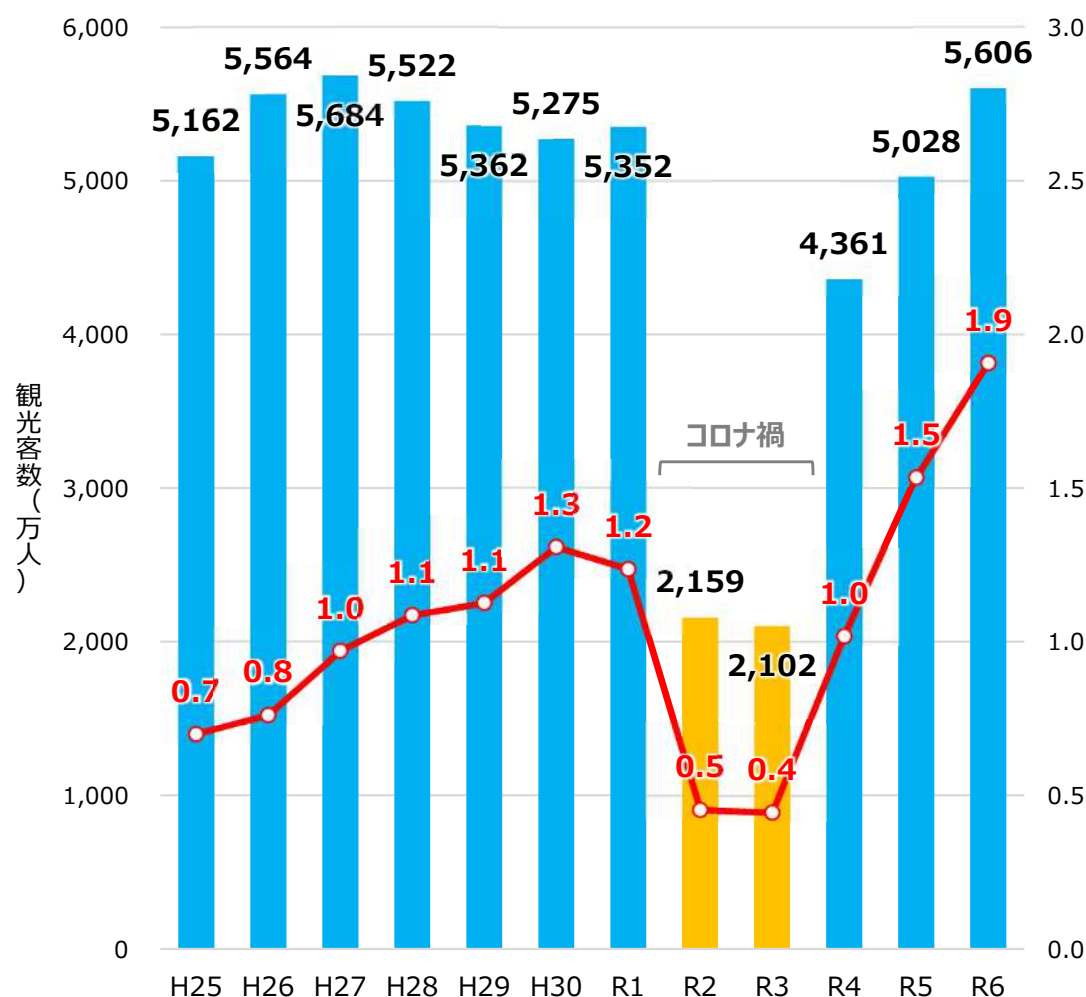
1. 観光需要の動向
2. 観光地周辺の交通状況
3. 京都観光の課題認識
4. 京都観光デジタルマップの利用状況
5. 令和7年度の実施方針

1. 観光需要の動向

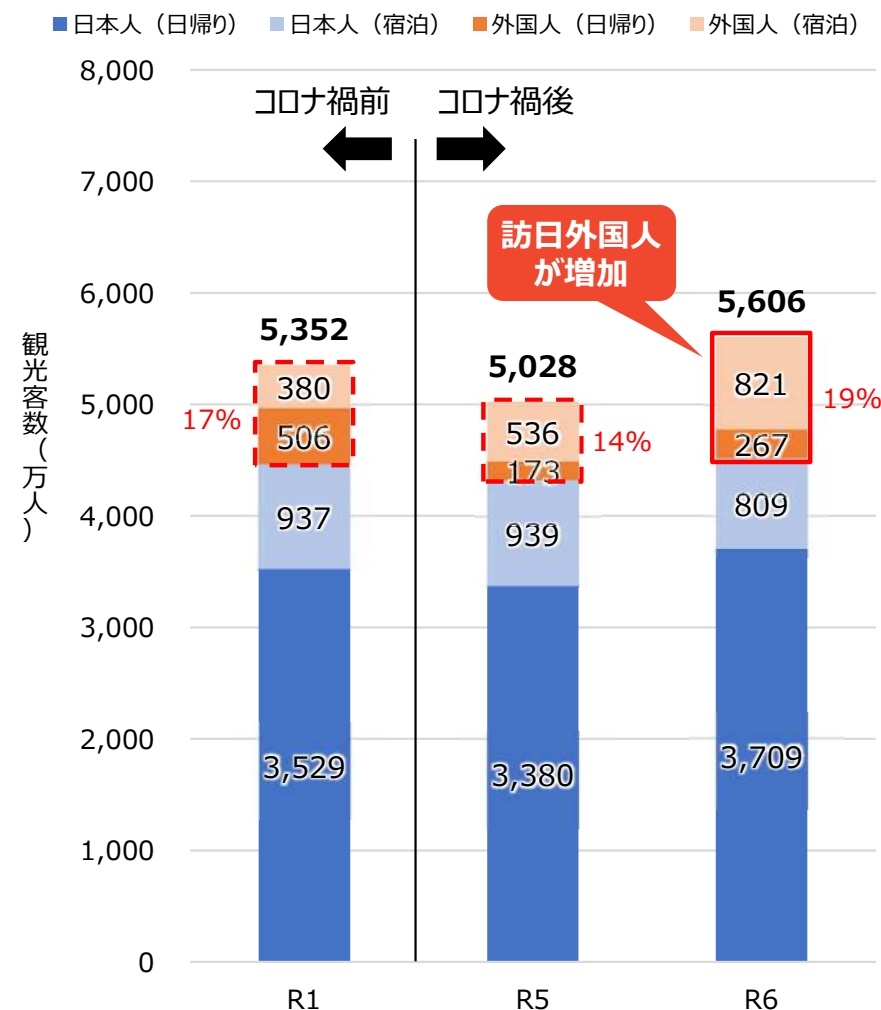
経年的な観光需要の状況

- 京都市の年間観光客数は、コロナ禍前の水準まで回復。観光消費額はコロナ禍前を上回る水準に増加している。
- 訪日外国人においては**宿泊を伴う観光需要が拡大**している一方で、**日本人観光客は日帰り利用が増加**し、**宿泊を伴う旅行がやや減少**している。

■ 年間観光客数・観光消費額の推移



■ 観光客の内訳



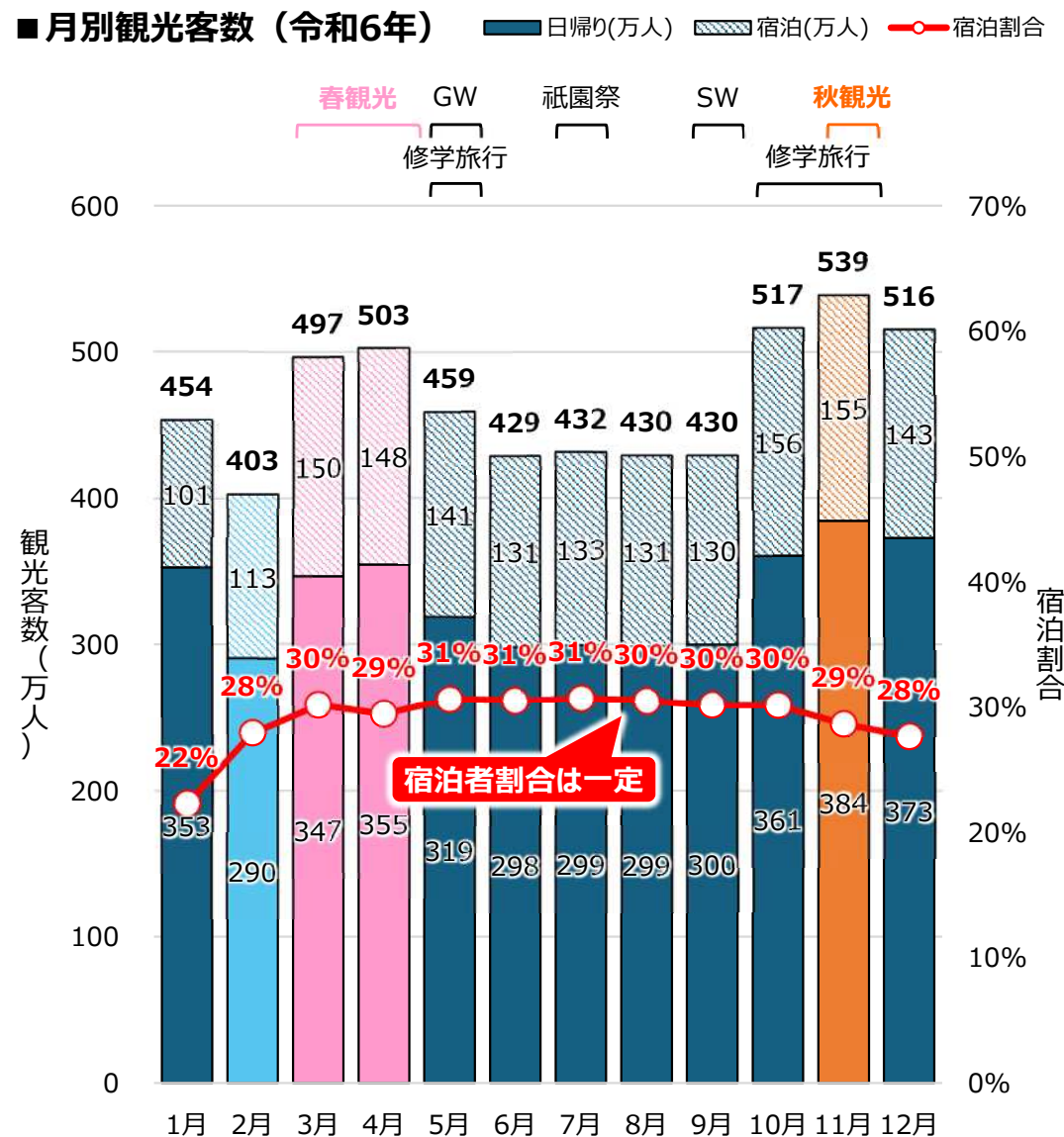
観光需要の季節変動

- 観光シーズン（11月）は閑散期（2月）の約**1.3～1.4倍**の観光客数であり、季節要因による需要変動が一定存在。
- 一方で、**宿泊割合は一定**（約30%前後）であり、閑散期・繁忙期で大きな差は見られない。

■観光客数の繁閑差



■月別観光客数（令和6年）

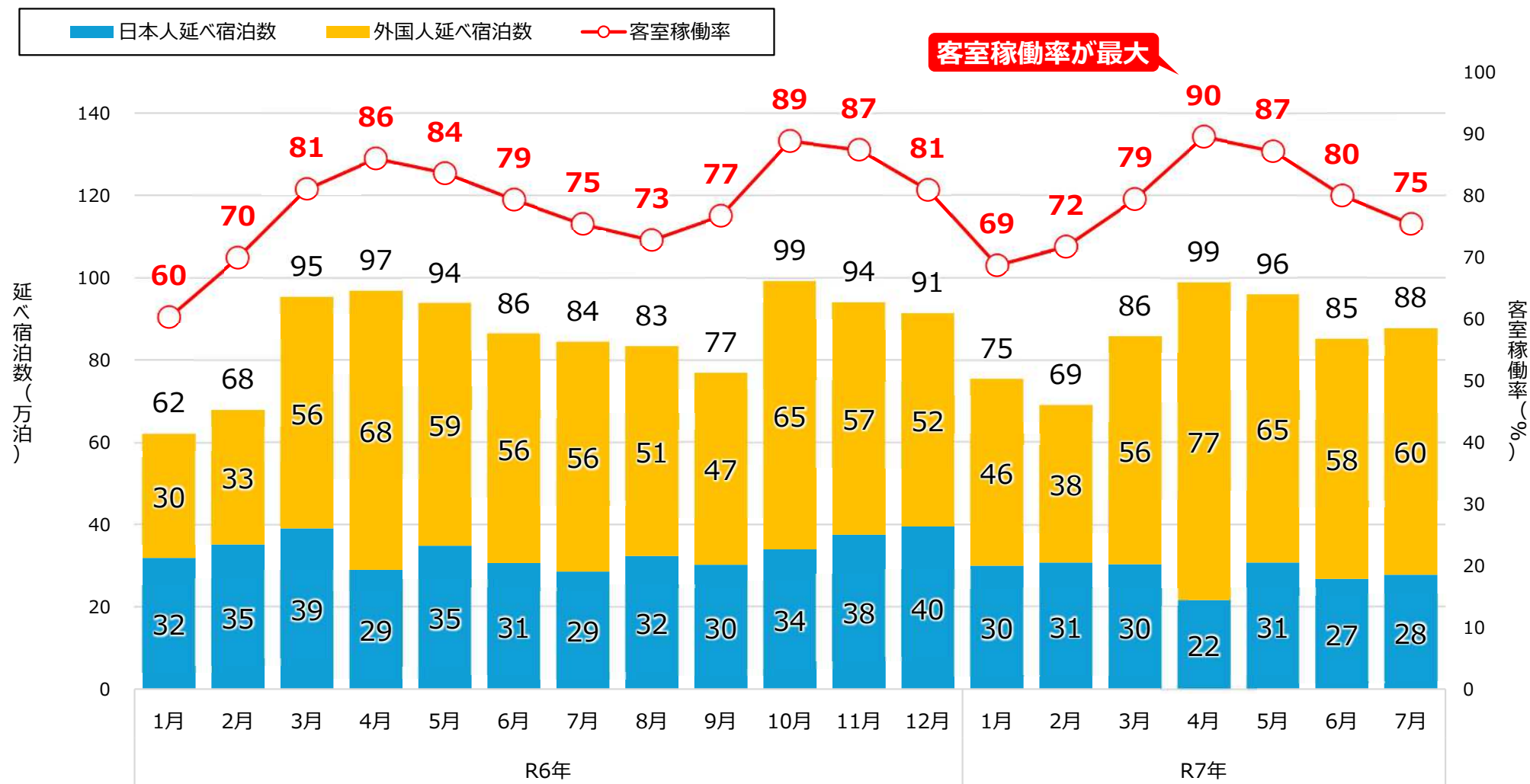


最近の観光需要

○R7年4月の客室稼働率（90%）は、R6年11月（87%）を上回り、直近では最も高い水準となっている。

○特に外国人延べ宿泊数の増加が顕著であり、宿泊需要の拡大を牽引している。

■京都市の宿泊客数

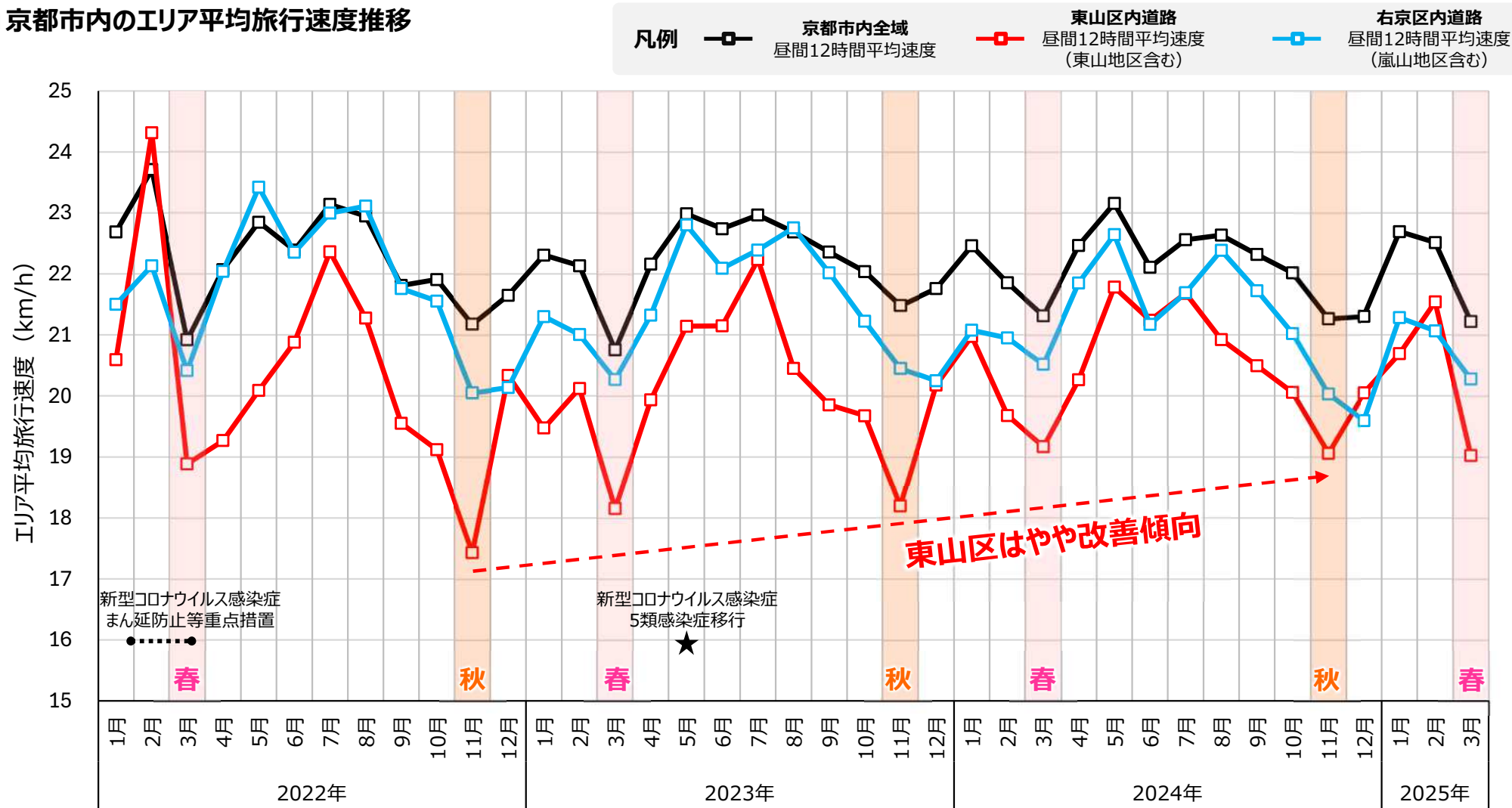


2. 観光地周辺の交通状況

経年的な京都市内の道路混雑状況

- 京都市内の旅行速度は、観光ピーク期を含む**秋季（11月）**と**春季（3月）**に低下する傾向。
- 特に、清水地区を擁する**東山区**と、嵐山地区を擁する**右京区**で旅行速度の低下幅が大きい。
- ただし、**コロナ禍以降、東山区の旅行速度はやや改善傾向**。

■京都市内のエリア平均旅行速度推移



【市内中心部】春季・秋季における混雑状況の比較

- 清水寺や嵐山、伏見稲荷などの主要観光地へ来訪する日本人観光客は、**春よりも秋に大きく集中**している。
- 一方で、**秋における旅行速度の低下**は比較的抑えられており、既存の交通対策が一定の効果を示していると推察される。

■京都市中心部の観光渋滞状況(昼間12時間平均速度)



(出典) ETC2.0プローブ 小型車 R6年11月下旬(R6.11/23,24,30,12/1), R7年4月上旬休日(R7.3/29,30,4/12,13)

■日本人観光客数

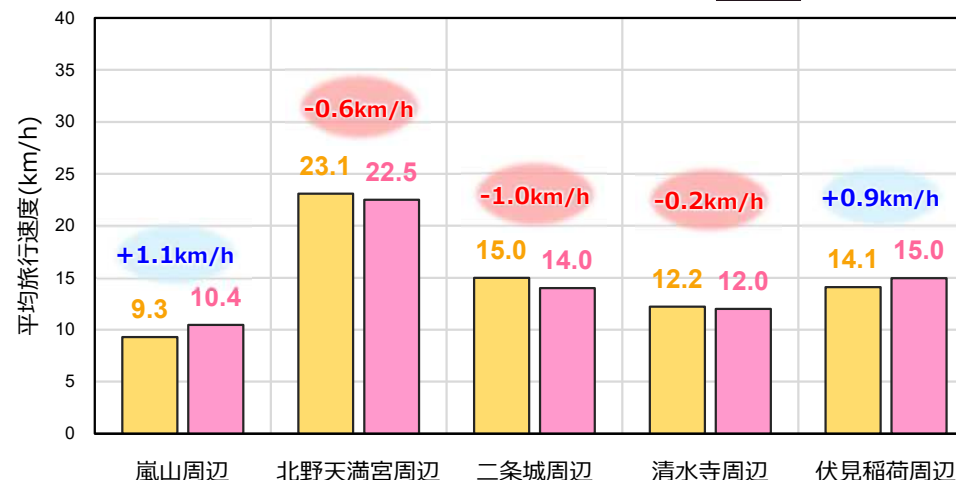
■ : 令和6年11月下旬休日 ■ : 令和7年4月上旬休日



(出典) KDDI Location Analyzer R6年11月下旬(R6.11/23,24,30,12/1), R7年4月上旬休日(R7.3/29,30,4/5,6)
集計対象: 観光客: 京都市に居住地・勤務地があるものを除き、観光地に30分滞在

■観光地周辺の旅行速度 (昼間12時間平均旅行速度)

■ : 令和6年11月下旬休日 ■ : 令和7年4月上旬休日



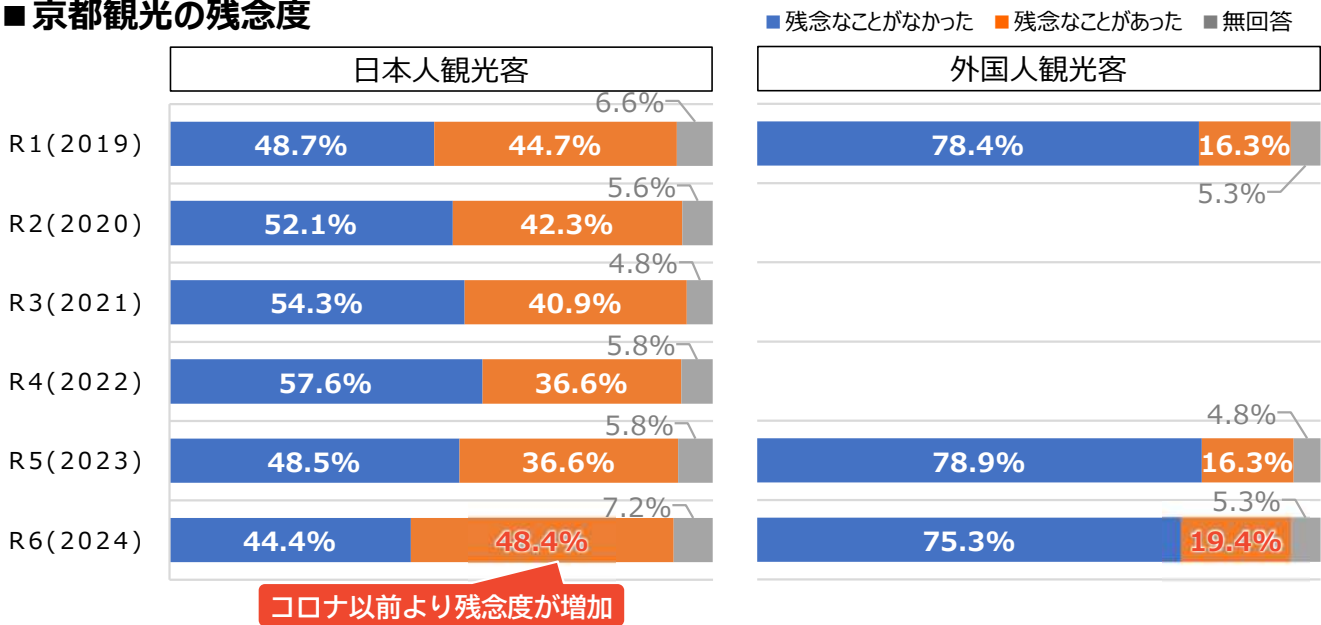
(出典) ETC2.0プローブ 小型車 R6年11月下旬(R6.11/23,24,30,12/1), R7年4月上旬休日(R7.3/29,30,4/5,6)
集計方法: 観光地周辺半径500m圏内のエリア平均旅行速度

3. 京都観光の課題認識

京都観光における混雑課題の認識

- 観光客・京都市民ともに、「京都観光＝混雑」と指摘する割合が増加傾向。
- 他の項目は大きな変化はない一方、「人が多い」との回答が国内外ともに2～3割を超過。

■ 京都観光の残念度



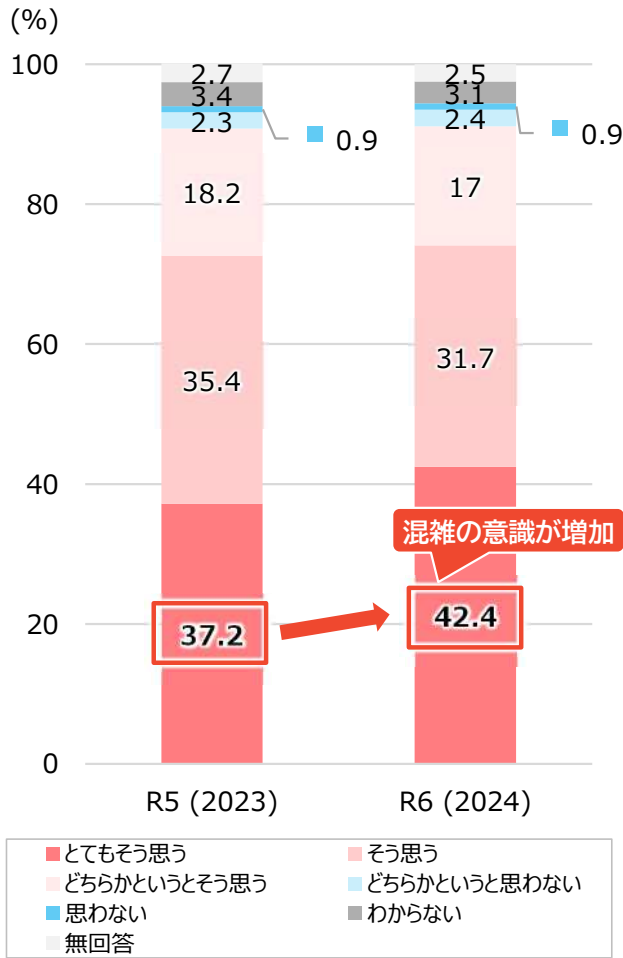
■ 残念な内容（抜粋）

日本人観光客	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
人が多い、混雑	20.2%	7.0%	11.9%	11.9%	30.8%	32.9%
交通状況	3.9%	2.9%	8.2%	4.3%	2.1%	2.5%
電車・バスなどの公共交通機関	9.8%	10.1%	9.9%	8.7%	8.9%	8.4%

外国人観光客	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
人が多い、混雑	11.2%	—	—	—	21.7%	23.0%
電車・バスなどの公共交通機関	16.9%	—	—	—	15.8%	18.0%

■ 市民意識調査

一部の観光地・文化観光施設及びその周辺地域等が混雑して迷惑する人がある



4. 京都観光デジタルマップ (京スマ)の利用状況

京都観光デジタルマップ～Kyoto Smart Navi～(京スマ)

○京都市・京都市観光協会との連携の下、**混雑状況の見える化や観光の分散化**をさらに推進し、
観光混雑の緩和を図るため『京都観光デジタルマップ（京スマ）』を 2024年11月1日(金)～ 運用開始。

京都観光デジタルマップ ～Kyoto Smart Navi～(京スマ)

■目的

混雑状況の見える化や観光の分散化を更に促進し、観光客の利便性向上を図る

■主な掲載内容

観光スポット情報：市内の神社仏閣やおすすめ観光スポット

混雑情報：京都観光快適度マップの混雑予測情報と、
市内観光地等の混雑状況をリアルタイムで発信

駐車場情報：市内一部の一般車及び観光バス駐車場の位置情報や、
リアルタイムの満空情報

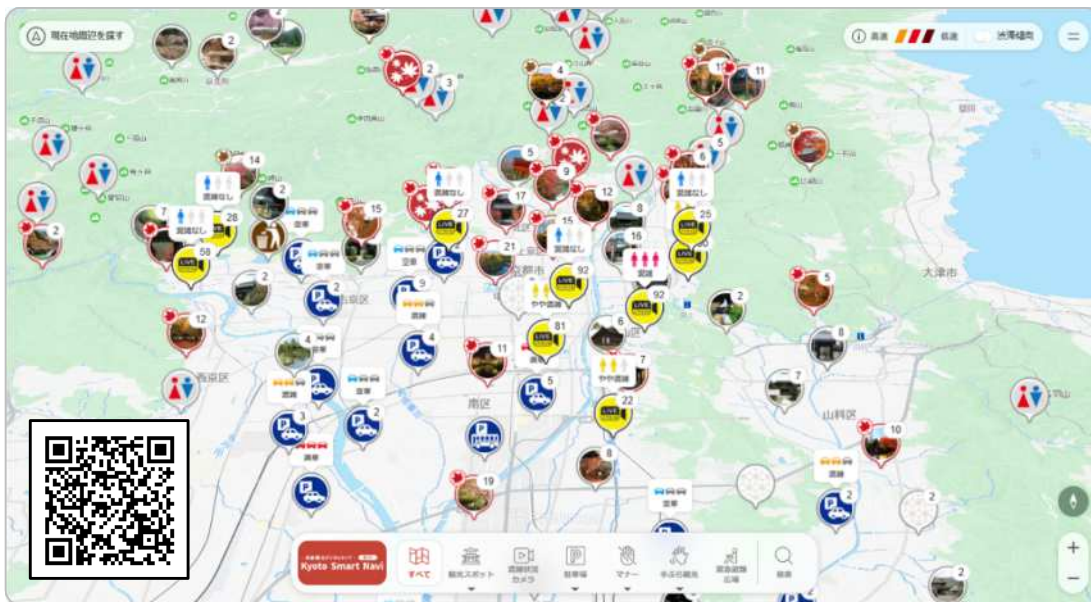
交通情報：市内道路における交通規制情報や渋滞傾向

観光マナー情報：公衆トイレやゴミ箱、喫煙所等

手ぶら観光情報：手荷物一時預かりサービス及び配送サービス窓口の位置

ルート検索：現在地から目的地までの最適ルートの検索が可能

緊急避難広場情報：大規模地震等の災害発生時に一時的に留まるための施設



日本人向けWEBサイト「京都観光Navi」



外国人向けWEBサイト
「Kyoto City Official Travel Guide」

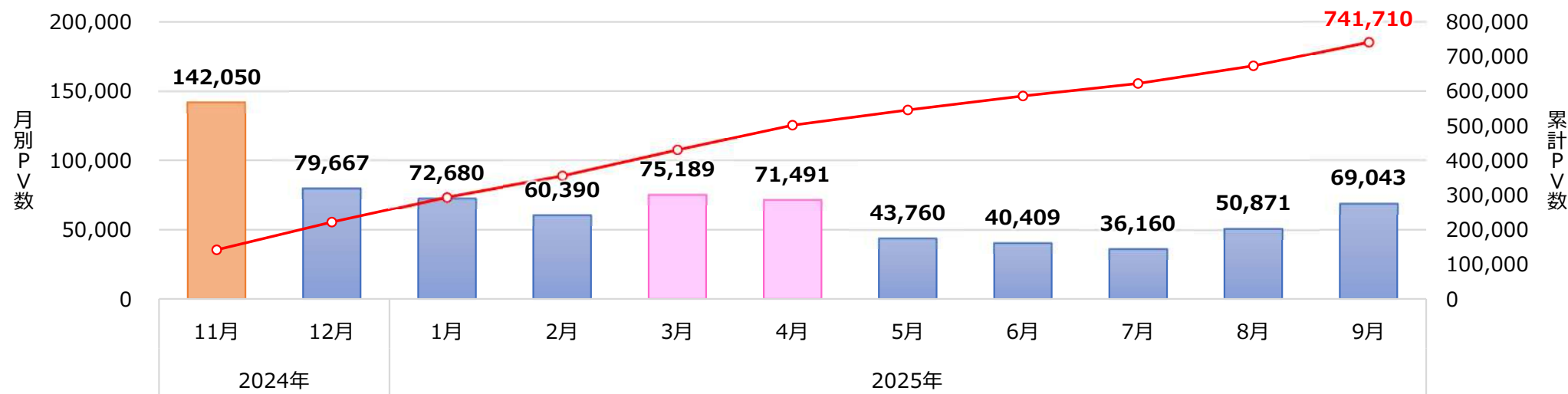


▲QRコード または URLをチェック ▶ <https://platinumaps.jp/d/kyoto-smart-navi>

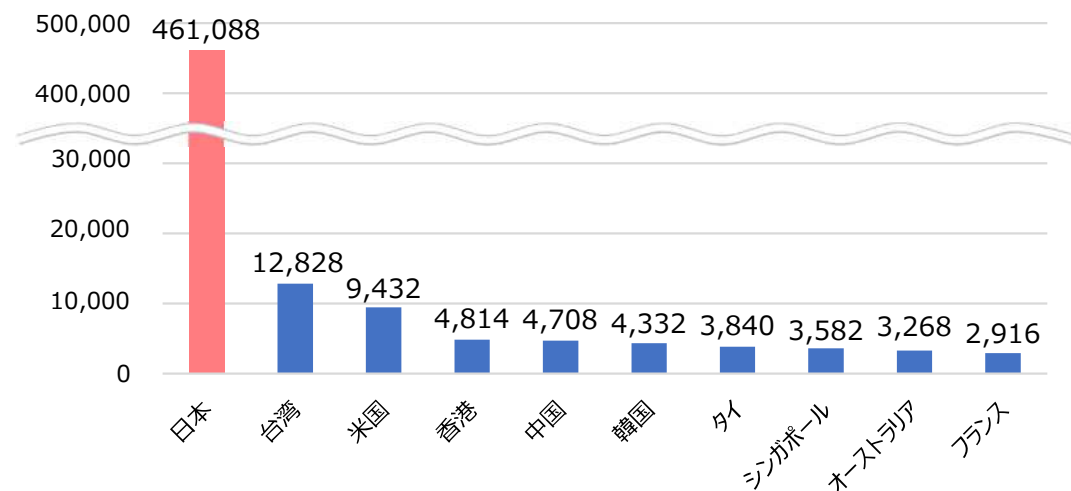
京スマの利用状況

- PV数は直近で70万件を突破し、月ごとの変動があるものの、一定水準を維持しており、**着実な定着**が進んでいる。
- 利用者の大半は日本国内であるが、台湾、米国、香港・中国・韓国など、**海外からの利用も拡大**している。
- アクセス端末は、モバイル利用とデスクトップが拮抗しており、**旅ナカでの利用**や、**旅マエの情報収集に活用**されている。

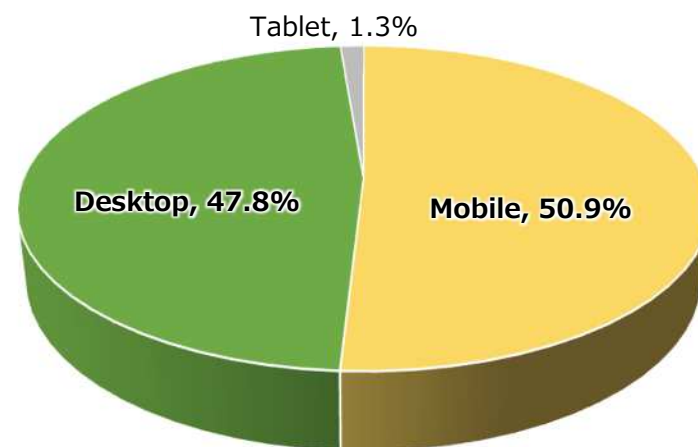
■マップPV数の推移



■国別セッション数



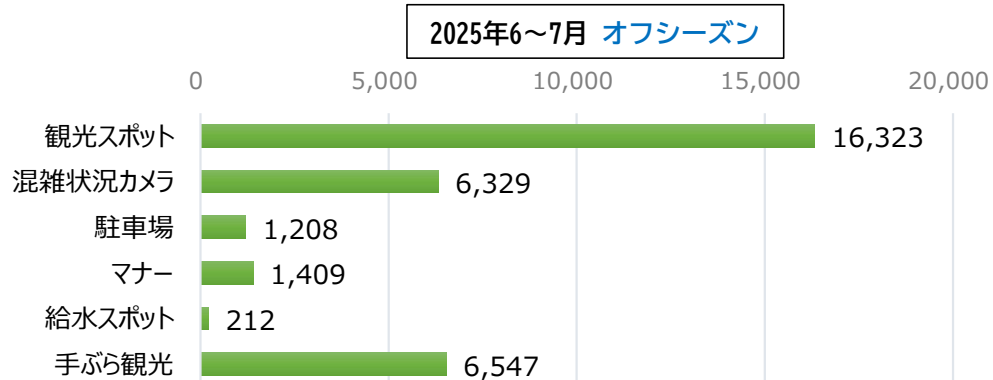
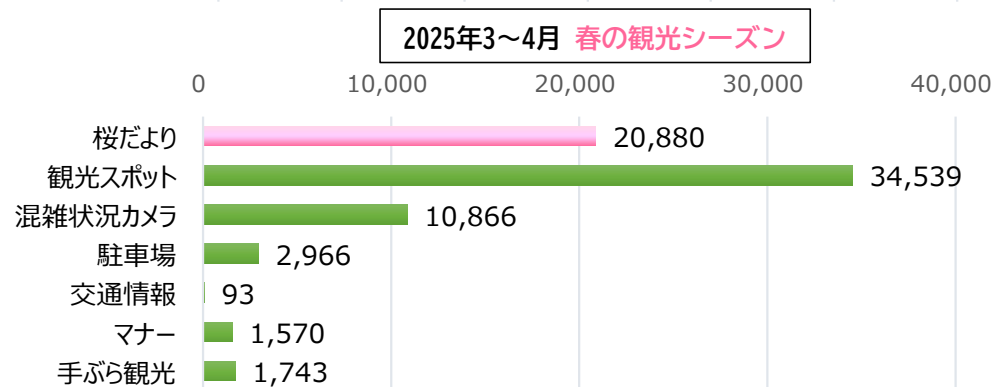
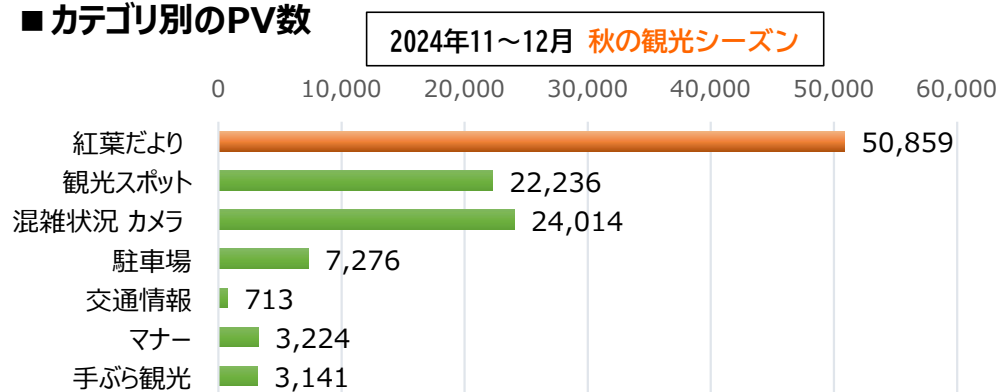
■デバイス別セッション数



コンテンツの利用状況とユーザーの評価

- 観光シーズンは「紅葉・桜だより」が人気だが、通年では混雑状況カメラや観光スポット情報など、幅広く活用されている。
- 利用者の約9割が「混雑回避に役立つ」と回答しており、リアルタイム情報や移動効率の向上が高く評価されている。

■カテゴリ別のPV数

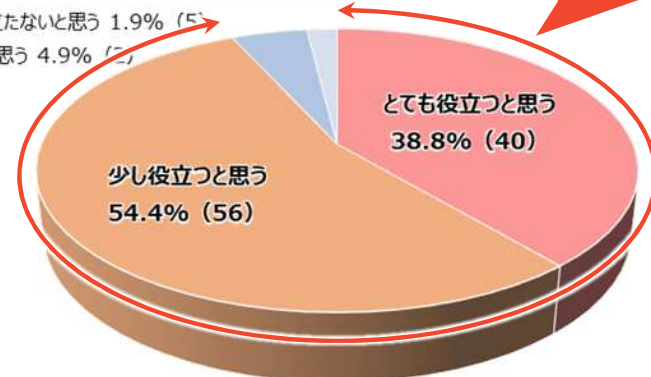


※カテゴリ別のPV数：各スポットアイコンをクリックした回数であり、マップ上で確認した人は含まない

■マップ利用者に対するアンケート（日本人）

設問：マップは混雑回避に役立つか

全く役立たないと思う 1.9% (5)
あまり役立たないと思う 4.9% (12)



約9割が役立つと回答

設問：マップの満足度（自由記述 抜粋）

1. リアルタイム情報の便利さ

- ・リアルタイムでの混雑状況が一目でわかるので、次の観光地や動き方を決めるのに役立った。
- ・お出かけ前にチェックするようになりました。
- ・人が少ない時間帯やスポットを選び、スムーズに移動できた。
- ・エリアごとに観光地を検索できるので、新しい発見があり面白いです。
- ・観光地の混雑状況や紅葉の色づき具合をリアルタイムで確認できました

2. その他

- ・紅葉の名所探しや観光スポットの可視化が役立った。
- ・知らなかった観光地を発見できた。
- ・トイレや喫煙所、ゴミ箱の位置情報も便利。
- ・駐車場・渋滞情報や交通案内が役立ち、移動計画が立てやすい。

（出典）マップ利用者に対するアンケート調査結果（集計期間：2025年11月～2月）

5. 令和7年度の取組方針

京スマを活用した令和7年度取組の全体像

- 京都観光デジタルマップは、観光に必要な全てのデジタルサービスをワンストップで提供できるプラットフォームであり、移動の利便性向上や地域の課題解決に貢献する「**京都観光M a a S**」に向けた取組みを推進する。
- 今年度の方針としては、観光回遊・交通・混雑対策を**一体的かつ戦略的に推進**、各場面で「**京スマ**」を活用する。

- 京都観光デジタルマップ - 京スマ Kyoto Smart Navi



- ・ **ゲーミフィケーションを活用した観光行動変容**
 - └ AI搭載を搭載した「**デジタルスタンプラリーシステム**」を導入
 - └ 観光回遊を促進しつつ、能動的な混雑回避を促す
- ・ **観光バス駐車場の事前予約システムの導入**
 - └ 観光バス駐車場の「**事前予約・決済システム**」を導入
 - └ 過度な集中を抑制し、受入環境の改善を図る
- ・ **東山・清水周辺での一般駐車場の満空情報提供**
 - └ 民間事業者が運営する一般車駐車場の満空情報を提供
 - └ 駐車場を探してうろつく交通を抑制し、混雑緩和を図る

ゲーミフィケーションを活用した観光行動変容

- これまでの知見として、**観光目的での来訪者の意思決定**や、**行動を変えることは困難**であった。
- そこで京スマを活用し、**情報探索や観光行動変容を促す**ため、**ゲーミフィケーション導入の可能性を検討**する。

【背景・目的】

- 京都市では、一部の観光地・道路・公共交通機関の混雑が発生し、市民生活への影響を及ぼしている
- 京都市内に流入する観光来訪者の需要や、自動車需要の分散化を図る

【これまで得られた知見】

- 観光客の特性として、混雑やコストに対する感度が低い
- 観光の「目的」を変更してまで、混雑回避はしづらい
- 情報探索や観光行動は一度きりのものになりやすい
- 情報を共有できる交流サービスの普及（SNSなど）により、情報探索も多様化

ワンショット型
ゲーミフィケーションの適用

ゲーミフィケーション※等による情報探索・観光行動変容の促進

【目的】

- ・観光は余暇活動であり、その活動自体を楽しむことが目的でもあるため、楽しみながら行動変容に結び付け、観光の分散化などを更に促進し、混雑緩和を図る

【取組概要・期待する効果】

- ・準備段階⇒出発時⇒移動途中⇒目的地の各時点において、Kyoto Smart Naviでの情報探索・活用を促進
- ・混雑を避ける行動に導くことに貢献可能なゲームデザインを検討 ➡ スタンプラリーを開催（試行）

Kyoto Smart Navi（京スマ）を活用した情報提供

情報探索・収集の促進

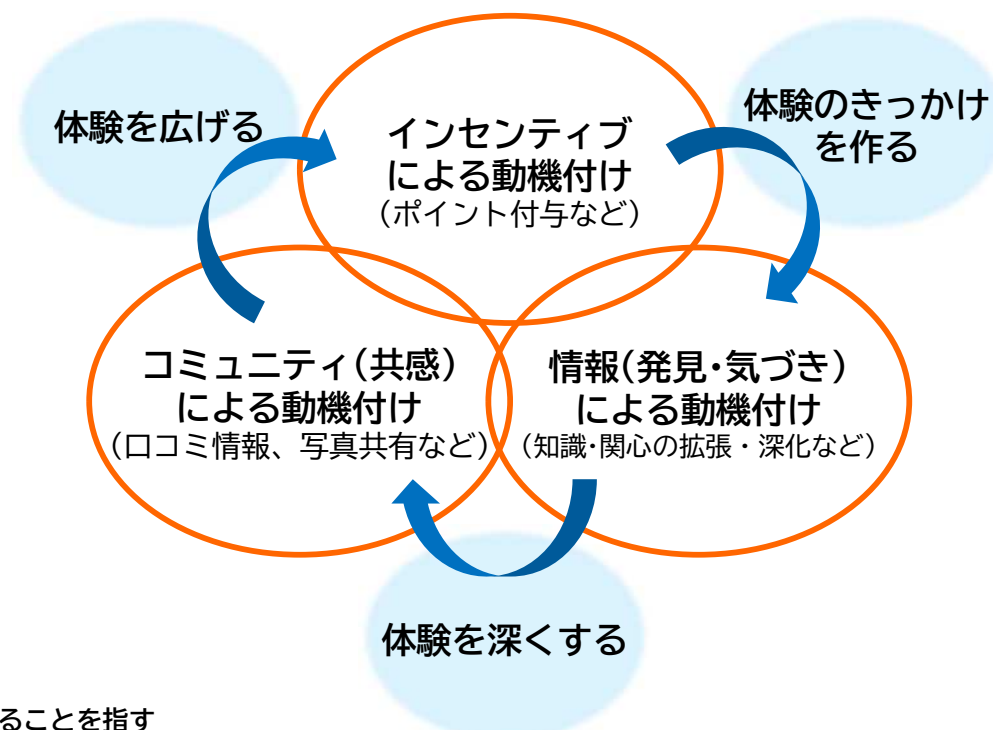
観光の分散化・回遊の促進

公共交通による来訪促進

パーク＆ライドの利用促進

観光客参加型の行動変容の概念図

インセンティブモデルとそれ以外の手法を組み合わせ



デジタルスタンプラリーの導入と期待される効果

- 京スマを基盤に、**生成AIを搭載したデジタルスタンプラリーシステム**を導入。
- AIにより**新たな行動体験を創出し**、楽しさと回遊性を高め、**分散型観光の推進**と**地域資源の魅力発信**につなげる。

生成AIを活用した デジタルスタンプラリーシステム

- ✓楽しさと回遊性を高め、分散観光に資する機能を搭載
- ✓AIを活用した多様なスタンプ取得方式
- ✓リアルタイム分析・データ可視化



©Platinumaps, ©Platinarily

京スマの利用促進 新たな観光資源の魅力発信 観光の分散化・回遊促進

ゲーミフィケーションを適用し、施策を展開



期待される効果と波及的影響

1. 「Kyoto Smart Navi(京スマ)」の認知拡大・定着 → 更なる**利用促進**
2. 分散型観光の推進、公共交通の利用促進 → **観光地・道路・市バス**の混雑緩和
3. 回遊性の向上、隠れた名所・地域資源の発見
4. デジタル活用による観光体験の向上 → **能動的**で楽しい観光行動を促進
5. 地域経済への波及効果
6. 持続可能な観光（サステナブルツーリズム）への貢献

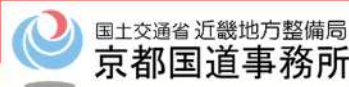
観光バス駐車場の事前予約システムの導入

- 京都市内では、一部の観光地周辺や国道1号などの主要幹線道路では、**観光バスによる道路混雑が発生**。
- 観光バスの**過度な集中を抑制し、受入環境の改善を図る**ため、「**観光バス駐車場の事前予約システム**」を導入。
- 市主体の**バス駐車場満空情報発信と一体的に推進**し、バス事業者の利便性向上と、市内交通の円滑化を推進。

【背景・経過】

- インバウンド団体旅行等をはじめとした観光客の増加に伴い、一部観光地等での混雑等が発生 ➡ **市民生活に影響**
- 一部の観光地周辺や国道1号などの主要幹線道路では、**観光バスの交通集中や路上滞留等が各所で散見され、道路の混雑が発生**

事前予約・決済システムの導入



【目的】

観光バス需要の過度な集中を抑制し、京都市内に流入する観光バスの需要を適切に管理し、道路交通の円滑化を図る

【取組概要】

京都観光デジタルマップ（京スマ）の中で、**観光バス駐車場の「事前予約・決済サービス」を導入**



京都市と協働で事業推進

リアルタイム満空情報の一元発信



【目的】

既存の駐車場の効率的な活用促進、観光バス運転手の駐車場探しによる走行の減少等を図る

【取組概要】

京都観光デジタルマップ（京スマ）の中で、**市内の観光バス駐車場のリアルタイム満空情報を一元的に発信**

▼寺社仏閣を含む京都市内のバス駐車場位置図（全43カ所）



● 収容台数20台以上 ● 収容台数19台以下

京スマを基盤とした事前予約・決済システムのイメージ

- 利用者は、京スマ上から『観光バス駐車場 事前予約サービス』をアクセスし、予約から決済まで一括して可能。
- 駐車場事業者にプラットフォーム利用料等の負担はなく、必要なのは決済手数料のみ。
- R8年1月からの運用開始に向けて、システム開発および駐車場事業者との調整を進めている。

■ 予約画面遷移イメージ

- 京都観光デジタルマップ - 京スマ
Kyoto Smart Navi



スポット情報
(ミニバナー表示)



予約マスターページ



各駐車場の予約ページ
(入力画面)

※現時点のイメージのため、今後変更になる場合があります

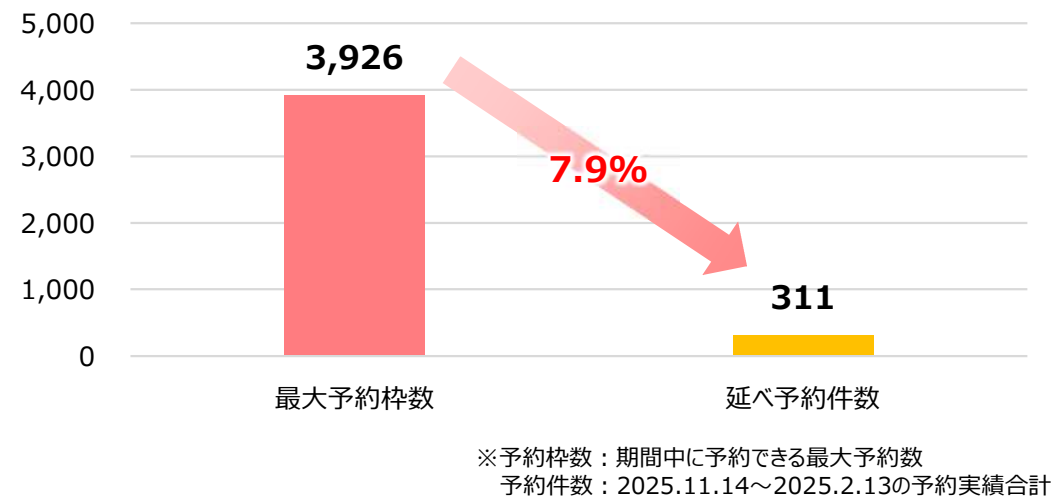


決済画面

観光地における民間駐車場予約推進の課題

- 昨年度、東山・清水周辺の民間駐車場（一般車）において事前予約システムを構築し、試行的な運用を実施。
- 事業継続にあたっては、様々な難しい課題があり、利用者・事業者双方にとって魅力あるスキームの慎重な検討が必要。

■ 予約枠数に対する予約利用件数



■ 参画事業者の状況

駐車場	駐車場数	台数
東山エリア全体（観光駐車場除く）	13	223
参画駐車場	4	61
参画駐車場の割合	31%	27%

■ 事業継続にあたっての課題

【利用者視点での課題】

- ①予約サービスの認知度向上と利用促進
 - ➡ 効果的なプロモーション施策
- ②利便性向上
 - ➡ 料金体系の見直し、予約枠の拡充
 - ➡ アプリ連携

【事業者視点での課題】

- ③収益性の確保
 - ➡ 持続可能な時間枠・料金の設定
 - ➡ 費用負担の軽減
- ④運営管理の効率化
 - ➡ 不正駐車等を防止・抑制する仕組み
 - ➡ 予約管理を効率化するシステム改善

駐車場の事前予約は混雑緩和や利便性向上につながる仕組みである一方、観光客の間では「事前に駐車場を予約する」という利用行動が定着していない

利用者・事業者双方にとって魅力ある予約スキームの構築に向け、継続的に検討を進める

東山・清水周辺における一般駐車場の満空情報提供

○前頁を踏まえ、今年度は空き駐車場探しによる不要な交通流入を抑制するため、東山・清水周辺の民間駐車場の満空情報をリアルタイムに提供し、道路交通の円滑化を図る。

■ 東山・清水周辺の渋滞状況と全体像



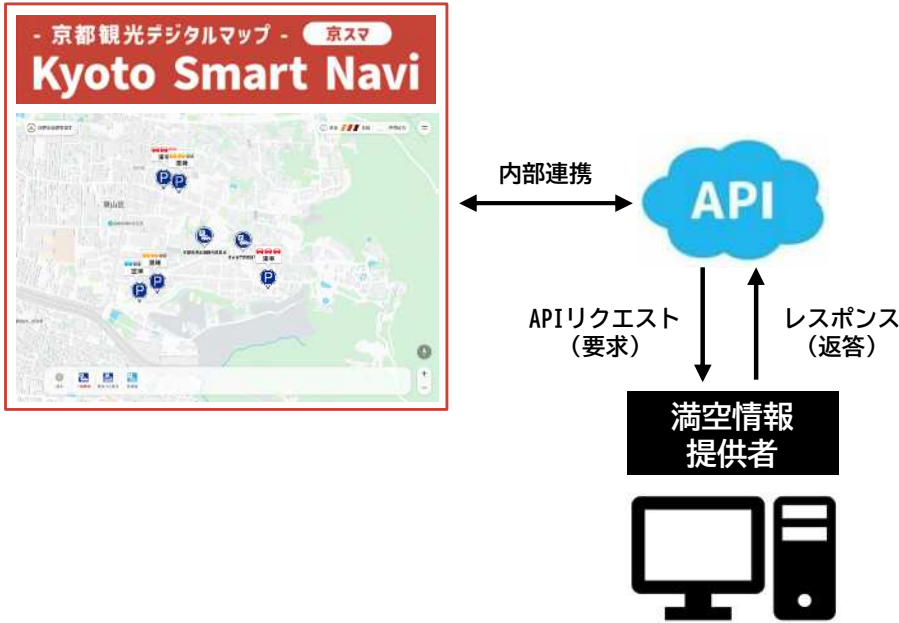
清水寺周辺駐車場のリアルタイム満空情報の提供

空き駐車場を探してうろつく不要な交通の抑制
五条坂・清水坂周辺の交通環境の改善

■ 対象駐車場：民間事業者が運営する一般車駐車場

対象駐車場		収容可能台数	
民間事業者①	駐車場A	26台	99台
	駐車場B	16台	
	駐車場C	4台	
	駐車場D	4台	
民間事業者②	駐車場E	49台	

■ システム連携イメージ



各施策のスケジュール(予定)

- 各施策の実施スケジュールは以下のとおり。
- ゲーミフィケーションや駐車場予約システム等を連動し、段階的に展開していく。

